

第 35 回稲取水産祭が開催される

平成 27 年 5 月 4 日のみどりの日に伊豆漁協稲取支所で「第 35 回水産祭」が開催されました。毎年 5 月の連休に行われており、今年で 35 回を数えます。

開場時刻は午前 8 時 30 分でしたが、午前 7 時前から長蛇の列ができていました。稲取キンメをはじめ、定置網で獲れたワラサやサバなど地元水産物を目当てに県内外からの多くの来場者で賑わいました。特に朝獲れの稲取キンメは大人気で、開場 30 分で売り切れてしまいました。漁協婦人部による数量限定の地元名産げんなり寿司も人気で、その他、伊豆漁協の販売する干物、シワメやヒジキといった海藻類も好評でした。また、清水漁協用宗支所からも、しらすの釜揚げが販売されました。

昨年に続き、水産物を購入した方を対象にした抽選会が行われ、東伊豆町観光関係者や伊豆漁協等が用意した宿泊券や地元特産品などの景品を狙って大賑わいでした。最後は恒例の餅まきを行い、大盛況のうちに祭りは締めくくられました。

水産祭りではキンメダイの水槽展示も行われました。泳いでいる姿が見られるのは珍しく、来場者も興味深く観察していました。キンメダイは高級魚としての知名度が定着し、需要は増加傾向にあります。一方で、漁獲量は減少傾向にあります。現在伊豆分場では、キンメダイの資源回復に向けた種苗生産研究に取り組んでおり、伊豆漁協稲取支所にもご協力いただきながら研究を進めています。キンメダイの資源を守り、いつまでもこの稲取水産祭が続くことで、キンメのまち稲取の活性化に繋がってほしいと思います。

(鈴木勇己)



人気の稲取キンメ



キンメダイの水槽展示